

# 風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷  
 相模原市中央区田名7236-3  
 発行責任者 松永 徹  
 042-760-1033  
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>  
[e-mail:ykoubou@pastel.ocn.ne.jp](mailto:ykoubou@pastel.ocn.ne.jp)



## 【2022年 夏号】

◇巻頭文	P 2	◇ご挨拶	P 3
◇やまびこ工房・第二やまびこ工房	P 4・5	◇支援センター便り	P 6
◇グループホーム便り	P 7	◇後援会のページ	P 8

## 新任のご挨拶

社会福祉法人風の谷 理事長 松永徹

社会福祉法人風の谷では、さる2022年6月24日に2022年度第1回評議員会を開催し理事の選任を行いました。そこで選任された理事により第106回理事会を開催し、新たな理事長として選出されました。まことに力足らずであり、責任の重さを痛感しております。風の谷がご利用者やご家族、地域の方々の期待に応えていけるよう、役員・職員そしてご利用者やご家族、地域の方々、行政とともに進んでいけるよう努めていきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。法人設立委員会のご家族の一人として風の谷の運営を長きにわたり担われてきた政野光廣前理事長、また法人の設立からこれまでの間ずっと風の谷を牽引された中島博幸前常務理事は前期をもって退任されました。法人設立からこれまでのお二人のご尽力に対し深く感謝申し上げます。

社会福祉法人風の谷は「相模原市自閉症・児者親の会」の運動の中から1997年に設立され、自閉症の方達とご家族を支援することを目的として通所更生施設やまびこ工房を立ち上げました。以来、行動的な課題もある自閉症の方達が地域の中で暮らし続けることができるよう、利用者一人ひとりに必要な個別的な支援の提供とそのための職員の支援の専門性の向上及び地域生活支援システムの構築を目指して事業を展開してきました。

決して大きいとはいえない法人が全力をあげ、通所施設のみならず、グループホームや短期入所、移動支援や行動援護などのヘルパー派遣、相談支援と地域の生活を支えるためのサービスを次々に立ち上げ、フル回転で20年以上事業を展開してきました。

一方、この20年は障害福祉制度が大きく変化した時代でもありました。「措置から契約へ」をキーワードに措置制度から、支援費制度、障害者自立支援法、障害者総合支援法と次々に法制度が移り変わり、まるで制度サーフィンのごとく波を乗り越えることが求められました。社会福祉法人風の谷は、その時代の変化を乗り越えるなかで、自閉症のある方の地域生活支援に熱く取り組みながら、やや制度の変化が要求することに対応しえない体制になっていました。一昨年に相模原市の特別監査を受ける事態に至り、多くの課題解決が求められることになりました。

現在、新たな理事体制と管理体制で社会福祉法人風の谷は運営上の改革を進めています。法制度の遵守と時代の要請に応えながら、この法人が発発から求めて来た自閉症のある方々やご家族の支援、地域に根ざした生活とその生活がおくれるための事業を着実に進めて行きたいと思ひます。どうか、今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

## ご挨拶

統括管理者 西村三郎

ご利用者、ご家族、関係者の皆様には日頃より、当法人「風の谷」の運営にご協力をいただきましてありがとうございます。本年4月より「やまびこ工房（生活介護）」と「ナウシカ（グループホーム）」の管理者に就任いたしました西村と申します。ご存じの方もいらっしゃるかとは思いますが、やまびこ工房開所時にいた職員の一人で、2012年度末まで在籍しておりましたので、約10年ぶりに古業に戻ってきたこととなります。当時のことを思い出すたびに、たくさんのご利用者様、ご家族に恵まれてここまでこられたと実感しております。20周年記念事業に呼んでいただいたときには戻ってくるとは露にも思っておりませんでしたが、本当にうれしく思います。

さて、風の谷はご存知の通り自閉症支援専門法人として相模原市中央区、南区で事業を展開しております。離れていたからこそ感じているのですが、自閉症支援専門法人として地域の中での存在感を示すことができていると思います。集団を中心とした支援でなく、個別性を重視して障害特性の理解を基礎に個々に寄り添い、包括的に人生を支援する姿勢を追求してきた結果が評価されてきたからだと思います。一方で昨年度「風の谷改善委員会」の報告にもあったかと思いますが、コンプライアンスとガバナンスの強化が、法人としてもっとも大きな変革と再出発が求められている点でもあります。追い求めてきた専門性が内向きになり、最新の状態への更新や再構造化が進まず、支援方法や内容等が閉鎖的になり、地域の仲間たちと共有することや、自己点検する力が弱くなってしまったことが、信頼を失う結果となる要因であったのだと思います。さらに、組織としての脆弱さの補填を、職員個々のやりがいに頼っていたことも課題であったと思っています。着任したことで大きく何かが変わることはありませんが、出来ることを着実に前に進めていきたいと思っています。

今年度「活動と参加」を重点課題にして取り組んでいきます。ありきたりの目標ではありますが、風の谷も多分に漏れず“COVID-19”の影響で、多くの活動が制限されている状況です。先の見通しが立ちにくい状況は、ASDの方たちが納得しやすい状況とは言えません。「誰もが同じ状況であるからしょうがない」と我慢させるのではなく、「誰もが同じ状況だから、乗り越えるための特別な配慮（合理的配慮）が必要」と考えることが重要となります。そこに専門性を発揮できる場があるのだと思います。

さらに、漫然と続けてきた活動内容の見直しも現場職員を中心に検討して、“活動”について深めていきたいと思っています。「自閉症者をはじめとした障害を伴う人々が、良き隣人として違和感なく地域社会に受け入れられ、夫々の個性を発揮しながら生き活きと地域生活を送ることが出来る社会こそが、真に豊かな社会であることを確信し、その実現を期するべく活動します。」法人理念の最初に掲げられている文言になります。ご利用者さま一人一人が地域に“参加する”ことを職員全員が意識できるようにしていきたいと思っています。

職員も共生社会を作る一員であることを謙虚な気持ちで受け止め、研鑽を続け自閉症専門施設職員としてのプライドを持ちながら、ご利用者、ご家族とともに歩みを続けていきたいと思っています。まだまだ足りないことも多く未熟な身ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願いします。

表紙のイラスト(西村三郎管理者)を描いて下さった方々

(左上) 大庭 稔揮さん

(右上) 菅 愛さん

(左中央) 萱沼 元気さん (中央) 岩崎 健さん

(右中央) 山田 俊樹さん

(左下) 山井 裕太さん

(右下) 山口 敦生さん

(中央下) 菊池めぐみさん

☆素敵なイラストを描いていただきありがとうございました☆

# やまびこ工房通信 vol.1

新年度がスタートし早くも3か月が経過しました。新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き継続していく中ではありますが、今年度のテーマは「活動と参加」です。利用者の皆さんの活動の充実を通じて、社会との繋がりの機会を増やしていく事を目標に、外出活動や畑活動、また外活動だけでなく様々な取り組みを通して「参加していく場」を積極的に企画、実施していければと考えております。しかし、ただやみくもに職員側の気持ちだけで活動を企画し実施するものでもなく、利用者一人ひとりの特性やつよみ、個々の想いを尊重した「活動」を大切にしながら提案していきたいです。

やまびこ工房では今年度、十数年ぶりに「日帰り外出」を企画し実施する予定です。ワクワクする気持ちの反面、不安な気持ちもある中ではありますが、無事に完走し終わることを目標に実施していきたいです。ガイヘル活動が充分におこなえていない中、施設外での活動を通して、普段気づく事ができない視点での「芽生え」がたくさん見つかると思います。それらを今後の支援に活かしていくこと、そして今年おこなったから終わりではなく、今回を機に恒例行事へと繋げていくことが目標です。正直なところ、手探りな部分もありうまくいかない時もあるかと思いますが、それら全てに意味のあるものだと信じ、利用者の皆さん、ご家族、職員やそこに携わる人たちと同じ方向を向いて、築いていきたいです。(八木)



“活動と参加とは？”人それぞれとらえ方があり、その形式も異なります。パズルのピースのようにそれぞれの“繋がり”が出来たとき、その答えが見つかる気がしています。



# 第二やまびこ工房 自主製作品

## ～新製品紹介～



**～ハーバリウム～ ¥200～500**  
種を植えてから2年。ようやくラベンダーが花を咲かせてくれました。小さな花が可愛く映えるおしゃれなインテリアに仕上がりました。



**～アロマキャンドル～ ¥300**  
紙コップ大のアロマキャンドルを彫刻刀などで造形しています。一つひとつ手作りであたたかみのある製品になっています。ラッピングも可愛く仕上げています。



**～カレンダー～ ¥500**  
季節ごとにテーマを設定し、そのテーマに沿った絵を描いています。細部まで見ると「そういう風に表現するのか」と驚くことがあったり、惹かれるような絵のタッチが魅力的です。

新製品だけでなくインテリアやフックカバー、ティッシュケースなどの刺繍製品やペット用おもちゃやアクリルたわし、ネックウォーマーなどの編み物製品も作っています。

第二やまびこ工房受け付けでも販売しておりますのでお立ち寄りの際は是非ご覧ください！



## 支援センター便り

物心がついてしばらくたった高校生ぐらいの時、友達の家遊びに行くと、何か違和感というか軽い驚きというかむずむずした感じを覚えたものです。我が家と違うその何かは、親兄弟の雰囲気だったり、出された料理の味付けや食べ方だったり、家の中の物の多い少ないや片づけられ具合だったり色々ですが、その友達の人となりと合わせて考えて、「なるほど…」と思ったり思わなかったり。同じように、いくつかの家を見る中で自分の家のことを思い返し、「ウチって、こんな感じなんだ…」とも考えるわけです。

私は福祉の仕事では、風の谷以外の事業所に勤めたことがほとんどありませんでしたが、相談業務をしていく中で、他の事業所を見学させて頂く機会が増えました。これまで携わってきた風の谷での仕事の全般が自分の中にあり、そこを基準として見て比較して判断することになります。私は風の谷での仕事が好きなので、ついついひいき目に見て、「ウチはこういうところがさすがだな」などと思ったりもしますが、多くの事業所を見ていくうちに、「ここでは、こんなことまでやってるんだ!」とか「こんな発想はウチでは出てこないな」など他の事業所のいいところが目に付くようになってきました。単に物を知らなかった、という事ではありますが、比較対象が増えていく中でだんだん「風の谷だけ基準」から、「たくさんの比較対象の中での基準」に変わってきた感じです。そして「たくさんの比較対象の中での基準」から考えると、極端な例を除いて支援には必ず良い面と悪い面というか、表と裏があるように思います。

自閉症支援は、はっきりした答えが出ないことが多いです。何か支援をしたときに一つの結果が出ますが、或いは、それよりももっとうまくいった場合もうまくいかなかった場合もあったはずですが、その検証は出来ません。ただ、結果を踏まえて次の支援を考える時に、自閉症に関する知識や技術と共に「たくさんの比較対象の中での基準」を持っていた方が、その場その時の利用者にあった支援を準備できるのではないかと考えるのです。

(鹿野)

### 第15回相模原市自閉症児者作品展

～ミロより優しくゴッホより激しくピカソより純真～

2022年

11月25日(金)

13:00～19:00

11月26日(土)

10:00～19:00

11月27日(日)

10:00～15:00

おださがプラザ ラクアルおださが4F

小田急線 小田急相模原駅 北口徒歩1分

Web配信

12月25日(日)12:00～

2023年1月25日(水)22:00

入場無料

市営駐車場あり



## ナウシカ便り



今年も暑い日が続いていますが、ようやくお祭り等のイベントが再開される地域が増えてきました。感染対策を講じながらの開催ではありますが、やはり夏の風物詩としてお祭りはあってほしいなと思います。

さて、夏と言えば今年も七夕を迎えました。ナウシカの皆さんは割と決まったことを書かれており、行きたい場所や食べたいもの、見たいものを書かれる方が多いです。

近隣の方にもご協力をいただき、主に登校班の集合場所で短冊をお渡しして、後日受け取る形を取らせていただいています。今年もたくさんの短冊で賑わいました。様々なお願い事がありますが、特に近隣の小学校の皆さんが書いてくださる短冊は夢や目標が満載です。さらに色つき、イラスト入りもあり、とても楽しませていただいています。

昨年は健康に過ごしたい、感染が落ち着くように、医療関係の仕事につきたい、という夢が多くありました。今回はスポーツ選手になる夢や大会での活躍の目標など皆さんそれぞれの活動に応じた内容が多くなっているようでした。子どもの夢や目標は大人を元気にします。

今後こういった交流の機会を大事にしていきたいと思いました。ありがとうございました。(野田)



## カラフル便り



今年の夏は梅雨が短く一気に夏になったような気がします。猛暑日が続いていますが電力の切迫から節電を求められもしています。そんななかで少しでも快適に夏を乗り切れるようにとカラフルでは緑のカーテンを始めました。

今回用意したのはゴーヤーです。最初はポットに種をまき、発芽させました。ある程度成長したら大きめのプランター3つに用土や肥料を入れて苗を移し替え、ツルをはわせる為のネットと支柱を組み立て、プランターと合わせて窓に面した壁に設置しました。

立派に育てる思いを込めてみんなで水をあげています。時折水がかかって濡れてしまうのも涼しい風景です。出来た実がカラフルの食事に出るのも嬉しいものです。

ですがゴーヤーは苦手な方も多いので来年はキュウリやインゲンにも挑戦してみたいです。目標の大きさにはまだまだ達していませんが日々成長してつるが伸びていく様子を利用者の皆さんと一緒に楽しんでいます。

まだまだ暑い日が続きますが暑さに負けず、楽しく日々を過ごせるようにしたいと思います。(田辺)





# 後援会のページ



令和3年12月1日～令和4年6月30日現在 順不同 (敬称略)

## 【新規個人】

有路朱美 (海老名市) 中島博幸 (川崎市)

## 【更新個人】

〈相模原市〉

松原麻子 山口彰一 小川幸枝 高山幸 石崎守 小針和昇 辺見祐二 竹内英次 茂川広之  
鈴木秀美 永山智恵子 小林和子 原和代 菊間政好 吉田さやか 加来和仁

〈相模原市外〉

佐々木継生 (北九州市) 内藤美也子 青山恵子 鷺谷廣道 清水洋子 岡村香奈江  
菊池孝子 (横浜市) 上城敏明 山本昭子 (町田市) 上城洋一 (座間市) 上城功 (八王子市)  
村岡嘉紀 (大和市) 北村恵子 (逗子市) 守屋恵美子 (堺市)

## 【更新団体】

(有) 伸和トラスト

## 【ご寄付・ご協力】

〈団体〉新宿自治会 振興自治会 田名地区連合会 新宿小学校 (有) 伸和トラスト

三菱さがみ共済会 キュービックさがみはら 医療法人明和会中村病院

〈個人〉萩原春夫 藤田徹

その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

## 風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

〈お問い合わせ先〉

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345

## ☆お知らせ☆

今年もたくさんのブルーベリーが実っています ✨  
毎年ご好評いただいているブルーベリーの  
摘み取りが7月8日から始まっています。  
ご家族やご友人と一緒に  
ぜひ摘み取りをお楽しみください。

販売価格 100gにつき100円です。  
熱中症対策。帽子、飲み物のご用意をお忘れなく( ^▽^ )

